

尾張の虫送り行事 (昭和59年2月27日 県指定 所在地 稲沢市祖父江町地区)

出演団体 祖父江の虫送り牧川実行委員会 開催日 7月3日(火) 13:45~15:30
開催場所 稲沢市立牧川小学校体育館 参加小学生 5・6年生(2クラス 60人)



芸能概要

田の害虫を村境に送る豊作祈願の儀礼行事。7月上旬に麦ワラ等で作ったサネモリ人形を掲げ、松明を燃やし、鐘・太鼓を鳴らしながらあぜ道を練り歩き、害虫を追い払う。

当日のメニュー

尾張の虫送り行事について概要を説明した後、ビデオ視聴により興味を持たせる。松明作りにもチャレンジさせる。この出前民俗芸能教室を契機に祭礼行事の再生を期す。

おどりやまさかい

躍山境おどり

(平成13年6月22日 市指定 所在地 豊川市八幡町)

出演団体 躍山境おどり保存会

開催日 8月27日(月)9:00~11:30

開催場所 豊川市立八南小学校体育館

参加小学生 4~6年生(伝統芸能クラブ員20人)



芸能概要

400年ほど前、八幡村と平尾村の水争いや草刈場争いが解決し、この踊りが始まったとされる。三河国名所図絵や三河国宝飯郡誌等に紹介されている。

当日のメニュー

篝火(電気式)を中心に保存団体と伝統芸能クラブ員が輪になって踊る。出前民俗芸能教室を皮切りに練習を進め、11月3日の市民芸能大会等で成果を披露する。

三河万歳

(平成7年12月26日 国指定 所在地 安城市榎前町)

出演団体 安城の三河万歳保存会

開催日 9月28日(金) 13:45~15:20

開催場所 安城市立安城東部小学校体育館

参加小学生 5・6年生(4クラス 133人)



芸能概要

室町時代に畿内の万歳が伝わったのを起源とする。三羽鶴の舞、七草の舞、天の岩戸開きの舞、御殿万歳(七福神の舞)、三曲万歳を伝承演目とする。年間を通して目出度い席(正月、敬老会、七夕まつり、結婚式等)で舞う。

当日のメニュー

三河万歳の歴史を話す。特に三河御殿万歳の言葉の内容(意味)について説明をする。さらに、三河御殿万歳の実演と体験をさせることにより、古典芸能に対する理解を深める。

すなり
須成祭

(昭和55年2月12日 県指定 所在地 蟹江町須成)

出演団体 須成敬神会

開催日 10月5日(金) 13:45~15:30

開催場所 蟹江町立須西小学校体育館他

参加小学生 全校(12クラス 315人)



芸能概要

室町時代以前より行われている祭りで、葭刈神事、宵祭(巻藁船曳航)、朝祭(車楽船曳航)等からなる。現在、国庫補助事業として須成祭総合調査が行われている。

当日のメニュー

朝祭に飾り付ける梅花(1・2年生)及び桜花(3・4年生)の作り方、須成太鼓の実習(5・6年生)を伝承の一環として行う。出前民俗芸能教室を契機に恒例の学校行事にしていく。

板山獅子舞

(平成9年10月17日 県指定 所在地 半田市板山町)

出演団体 板山獅子保存会

開催日 11月19日(月) 9:45~11:35

開催場所 半田市立板山小学校体育館

参加小学生 全校(13クラス 348人)



芸能概要

江戸時代後期より伝承されている1人立の嫁獅子である。獅子頭をかぶりながら演じる歌舞伎芝居は、村の安全と米の豊作を祈り、氏神へ奉納する芸能である。足のつま先で踊ったり、鈴を掛けたり、番傘を飛んだりする等、大変難しい舞となっている。

当日のメニュー

獅子舞の実演をみてから、太鼓、笛、獅子頭に触れながら体験させる。これを契機に後継者の養成に弾みをつけばと願っている。

島文楽

(昭和36年3月27日 県指定 所在地 一宮市島村)

出演団体 島文楽保存会

開催日 11月20日(火) 11:00~12:30

開催場所 一宮市立葉栗小学校体育館

参加小学生 全校(21クラス 673人)



芸能概要

江戸時代末期、隣村から人形を譲り受けたことが、起源となっている。明治から昭和にかけて、10余名で伝承され、昭和初期には「人形浄瑠璃連中」「嶋人形連中」という仲間があったと言われている。

当日のメニュー

「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」を上演し、人形遣いの体験をさせる。人形の動きの精巧さ、人形芝居の奥深さを実感させる。興味を持つ子どもが後継者になるきっかけとしたい。